第５年○組道徳学習指導案

平成２７年　月　　日（　　）第　時限

指導者　○　○　○　○

１　主　　題　歩道にとめられた自転車（Ｃ―１６　よりよい学校生活、集団生活の充実）

２　資 料 名　歩道にとめられた自転車（出典　明るい心）

３　主題設定の理由

（１）　ねらいとする価値について

　　　　人は、社会の一員として社会から様々な恩恵を受ける一方、互いに助け合い支え合いながら生活している。また、高学年になると、学校や地域における様々な場面において、自分の立場や役割を自覚して責任を果たすことを要求されるようになる。

　　　　このような時期に、身近な集団や社会の中で、自分の役割を果たそうとしたり、社会の一員として、主体的に協力し助け合おうとしたりする気持ちを育てることが大切である。

（２）　児童の実態について

　　　　本学級の児童は、物事に対して積極的に取り組む姿が多く見られる。また、級友を大切に思い、困っている友達がいると助け合う様子が見られる。しかし、自分と直接関係がないような場面では、学級でゴミが落ちていたり、提出物が乱雑に置かれていたりしても、「気にならない。」「誰かがやるだろう。」「自分には関係ない。」といった、自己中心的な考えをもつことがしばしばある。

　　　　そこで、社会に役立つ働きをすることの大切さや喜びを感じ取らせながら、社会に役立とうとする気持ちを高めたい。

（３）　資料について

　　　　本資料は、友達が自転車を駐輪場まで持って行かずに、バス停横の歩道にとめてしまうが、車いすの男性が通りにくそうに近づいてくる様子を見て、友達とともに自転車を整理することができた主人公を描いた資料である。

　　　　いけないことが分かっていても、つい自己中心的な行動に走ってしまいがちな心情や、困っている人のために働いたり、社会の一員として自覚と責任をもって行動したりすることのすばらしさを、主人公・清美の心情の変化を読み取りながら感じ取ることができる資料である。

４　ねらい

* 社会の一員としての自覚をもち、社会に役立とうとする気持ちを高める。

５　準　　備　(教)　フラッシュカード

　　　　　　　(児)　筆記用具

６　「言葉を大切にし、自分の考えを伝え合う」との関わり

　　本時では、中心発問として主人公が、「清美は、この出来事で今までの自分と何が変わったか」を児童に問いていく。「困っている人がいたら助けなければならない」「自分の用事よりも助けることが大切である」「人のために何かをすると気持ちが良いことに気が付いた」などの児童の多様な考えに対し、質疑応答をしながら話合いを深める。話合いの中で社会的役割や責任について自覚し、社会に役に立つという価値を高めるとともに自分の考えを伝え合う力を身に付けさせていく。

７　学習過程

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 学　習　の　流　れ | 教師の働き掛けと支援・留意点 | 評　　　価 |
| ５  (5)  導入  方向付け | １　障害のある人のためにある施設や設備について発表する。 | ○　どのように役立っているかも確認する。 | ○　話を聞き、障害のある人のためにつくられた施設や設備について考え、積極的に発言できたか。  （挙手・発表） |
| ３５  (40)  ねらいとする価値の追求把握・自己の生き方の自覚 | ２　中心資料「歩道にとめられた自転車」を聞き話し合う。  （１）「歩道にとめられた自転車」を聞き、場面設定を確認する。  （２）「清美は、この出来事で今までの自分と何が変わったか」について話し合う。  　▲　清美は、この出来事で今までの自分と何が変わったでしょう。  ・困っている人がいたら助けなければならない。  ・自分の用事よりも助けることが大切である。  ・人のために何かをすると気持ちが良い。  △　これまでの考えに対して詳しく聞きたい、質問したいことはありますか。  　△　友達の発言で参考になった発言や改めて思ったことや感じたことはありますか。 | ○　資料は教師が範読する。  ○　場面絵、出来事、会話等をフラッシュカードで示しながら、児童に資料の内容を確認させる。  ○　「今までの自分と何が変わったか」語らせる。多様に出た発言は、児童とともに板書に整理する。  ○　ある程度考えがもてるまで待つ。  ○　的外れの発言があっても認める声掛けをする。  ○　考えがもてたら立たせる。各自で意見の分類をさせ、同類の意見が出た児童は着席させる。  ○　価値への理解を深めたり、自己の価値観の自覚を深めたりする。うまく質疑応答できなくてもよい。  ○　級友から学んで成長できたことを出し合わせ、学び合いを喜び合わせる。 | 社会的役割や責任について自覚し、社会に役立つことの価値について考えることができたか。  （発表・観察）  ○﷒　集中して資料を聞くことができたか。  （観察）  ○　友達の考えに対して積極的に質問することができたか。  （発表・観察）  ○　友達の考えに共感することができたか。  （発表・観察） |
| ５  (45)  まとめ | ３　自分の考えを文章でまとめる。 | ○　最終的な自分の考えをまとめるように声掛けする。 | ○　社会的役割や責任について自覚し、社会に役立つことの価値を高めることができたか。  （ワークシート） |